

本のむし

掲示版

2023年6月21日発行

編集 図書委員会 広報班

こんにちは、図書委員会・広報班です！

新学年になってから、あっという間にGW、体育祭、部活体験に
中間テスト…と、いそがしい毎日が続きましたね。

「もう疲れたよ〜🐼」という人も多いのではないのでしょうか。
たまには図書室で、一人ゆったり本やマンガを楽しんで、
リラックスするのもおすすめです！



小学校の本も借りられるようになりました♪

学園小学校メディアセンターの本を、中高図書室で取り寄せて
借りることができるようになりました！ 1人1冊、1週間まで。
くわしくは図書室まで、もしくは右のQRコードから。



他校の図書委員会と交流しました！

3月末に「ドルトン東京学園」（調布市）と
「捜真女学校」（横浜市）の図書委員会の
みなさんとそれぞれ交流会を行いました！

図書委員会としては初めての交流企画でし
たが、お互いの活動アイデアについて情報
交換し、とても良い刺激を受けました！！
春休みには捜真女学校さんを訪問しました。



大学図書館に行ってきました！

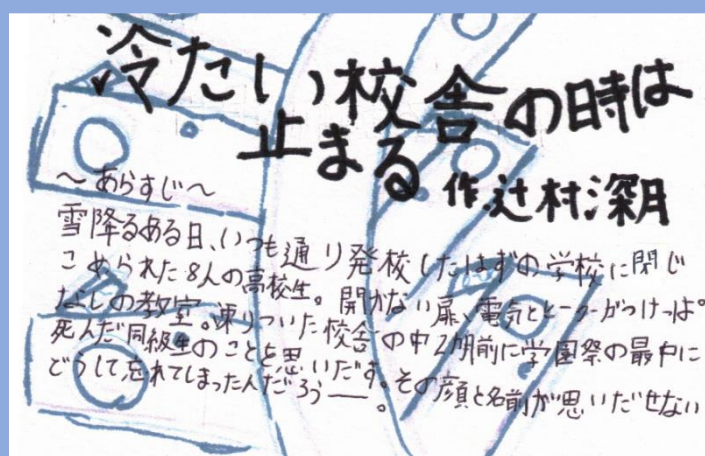
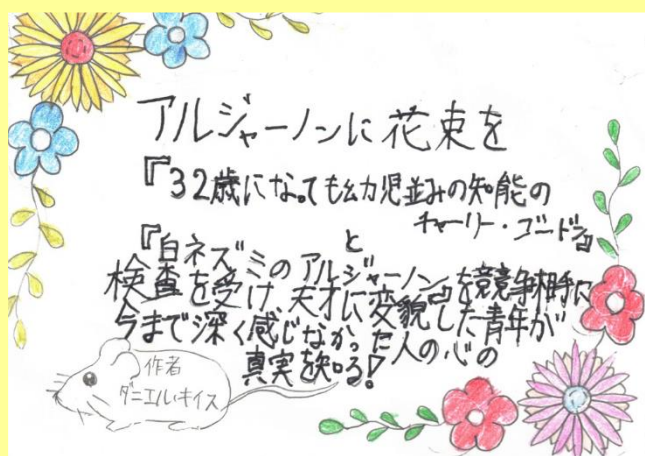
～神奈川県 横浜図書館編～



春休みに図書委員会の有志で神奈川大学の図書館見学に行ってきました！リニューアルオープンしたばかりの図書館はとっても綺麗で、150万点もの資料があるそう。



図書委員のオススメ本





住田学園長先生



学園長先生のおすすめの本は何ですか？



『A Color of His Own』（作：レオ＝レオニ 翻訳版「じぶんだけのいろ」）という本です。小さいころから本はあまり読まなかったのですが、この絵本は数少ないオススメの1冊です。



どんな内容の本なんですか？

主人公のカメレオンが自分の色を探す物語です。そもそもカメレオンは、場所によって擬態するために体色が変わってしまいます。なので、主人公は、自分の色がわからず悩んでいました。ある時、同じように自分の色についての悩みを抱えるもう1匹のカメレオンに出会いました。主人公は悩みを共有できる人ができたことによって、「これは幸せなことなんだ」と気づく…という流れです。

これは人間関係にも言えます。一人で悩んでいては解決しないことでも、共有すれば楽しく過ごすことができるかも。幸せになるには、大それたことをしなくても良いのです。



なるほど。絵本でもなかなか奥深い内容なんですね



中高生時代はどのような本を読んでいたか？

当時は本を読むより体を動かしていました。周りの人も、小説よりも漫画を読んでいる人のほうが多かったです。本を開いたとしても最後まで行かないことも少なくなく…



最近の学生たちは、本を手にとること自体が減ってきているみたいですね

たしかに電子書籍の普及はめざましいですね。しかし、紙の本には電子にはないわくわく感があると思います。





学園長先生は教育関係の本を執筆されていますが、どのようなものがありますか？



最初に書いた本は、自分の生き方や考え方についての本です。学校の先生とも一緒に書いたので、どの年代にも通じる本だと思います。



2冊目は、『**任せるマネジメント**』という本です。上から指示するのではなく教員に任せることによってやる気が上がる、というテーマで書きました。また、若手の先生向けに『**若手が育つ指示ゼロ学校づくり**』という本も書きました。



たくさん本を書かれているんですね！

しかしあまり本を読んでこなかったのが、語彙が少ないのが悩みです。色々な人からフィードバックをもらい直しています。

でも、難しい言葉を知らないぶん簡単な言葉を使っているので、内容が頭に入ってきやすいと評判が良いみたいです。小学生に言うことも、校長先生に言うことも、根幹は同じだと思います。どうやったらやる気になるかが大事です。



次はどんな本を書かれるんでしょうか？

新しい本は校長先生に向けた本です。校長先生が元気で上機嫌なら、それが教頭から先生、生徒へと伝わっていきます。他の学校の校長先生を見てきましたが「校長だからこうしないと」と身構えてしまっているせいで楽しそうではなかったです。明るく話しやすい雰囲気であればみなさんの気分も上がり、人も寄ってきます。逆に、校長の機嫌が悪ければ、「嫌だな」と思われて、人が寄ってこなくなってしまう。



たしかに機嫌のいい先生のほうが話しかけやすい気がします！そしてその大本をたどっていくと、先生たちをまとめる校長先生に行きつくんですね。

そうなんです。なので、私が色々なところで講演するさいにも、先生方に新しいことを頭に入れてもらうのではなく、とにかく元気になってもらおうと思ってやっています。

